

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|------------------|----|---|----|---------------|-----|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 7 | | | 園内の様々な部屋等を活用した活動を行っている。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 6 | 1 | | もう少しいると余裕ができると感じる。足りない時は他部署に応援してもらっている。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 6 | | 1 | 知的部門利用児と重症児の活動室を分け、バリアフリーに配慮している。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 3 | 4 | | 全職員に個々の業務改善のための目標を設定している。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 6 | 1 | | 保護者アンケートの結果を基に業務改善に努めている。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 7 | | | ホームページにて公開している。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 7 | | | 定期的に第三者による評価を受けている。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 7 | | | 研修情報、研修費用は十分にあると思う。 |
| 適切な 支援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 7 | | | 全利用児に心理士によるアセスメントを行い、計画を作成している。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 7 | | | KIDS乳幼児発達スケールを活用してアセスメントを行い、支援に活かしている。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 6 | 1 | | 日々の活動を職員全員で意見を出し合い、考える場を設けている。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 7 | | | 毎月、活動内容を考え、様々な活動を提供するよう努めている。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 6 | | 1 | 放課後と長期休暇時は違う活動を提供している。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | 7 | | | 全利用児に個別活動と集団活動を提供するように努めている。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 7 | | | 活動内容や利用児の近況、送迎等の情報共有を適宜行っている。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 5 | 2 | | 全利用児の記録を項目ごとに残し、その日の状況を共有している。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 6 | | 1 | 利用児に担当職員を付け、記録を確認して支援の検証と改善に努めている。 |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 7 | | | 半年毎に見直しを行っている。 |

| | | | | | |
|----|----------------------------------|---|---|---|---------------|
| 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか | 5 | 1 | 1 | 基本活動を複数行っている。 |
|----|----------------------------------|---|---|---|---------------|

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 7 | | | 児童発達支援管理責任者や担当職員が参加している。 |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 7 | | | 担任教諭等と日々情報共有や連絡調整を行っている。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 6 | 1 | | 園内勤務の看護師や理学療法士とも連携を取っている。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 3 | 4 | | 就学前から情報共有することで支援に繋げることができた。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 4 | 3 | | 知的部門利用児は小学部までなので、卒業後の福祉事業所との連携は行っていないが、重症児は行っている。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 3 | 3 | 1 | 会議等で助言は受けたが、コロナ禍で研修参加はしなかった。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 1 | 2 | 4 | 今年度はコロナ禍でできなかった。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 4 | 3 | | 別部署の科長が参加し、情報共有の場で、情報把握を行っている。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 6 | 1 | | 連絡帳やメール、引き渡し時等に近況の共有等に努めている。 |
| 保護者への説明責任等 | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 7 | | | 心理士によるペアレントトレーニングを行った。 |
| | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 6 | 1 | | 契約時に説明し、適宜質問等があれば応えている。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 7 | | | 心理士を中心に適宜相談に応じている。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 3 | 3 | 1 | |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 7 | | | ・苦情は速やかに上司に報告し、対応策を講じるよう努めている。苦情解決の窓口を園内外に設け、保護者に周知している。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 7 | | | 毎月のお便りやフェイスブックにて活動の様子等について発信をしている。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 7 | | | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 6 | 1 | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 2 | 3 | 2 | コロナ禍で行事は中止した。 |

| | | | | | | |
|---------|----|---|---|---|---|--|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 6 | 1 | | 各種マニュアルは策定されており、職員がいつでも目にすることができる所にある。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 7 | | | 避難訓練は火事、地震、風害、水害等様々な災害を想定して毎月行っている。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 7 | | | 虐待防止研修は全職員が参加する体制を整えている。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 6 | 1 | | 里証元は半々毎に同意書を作成し、保護者の同意を得ている。知的部門利用児は契約時に危険防止時等の制止等の可能性について伝えて、了承を得ている。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 4 | 2 | 1 | 保護者の聞き取りのみ。医師の指示書が必要なアレルギーの利用児はいない。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 7 | | | ヒヤリハット事例を日々記録に残し、職員間で共有する場を設けている。 |